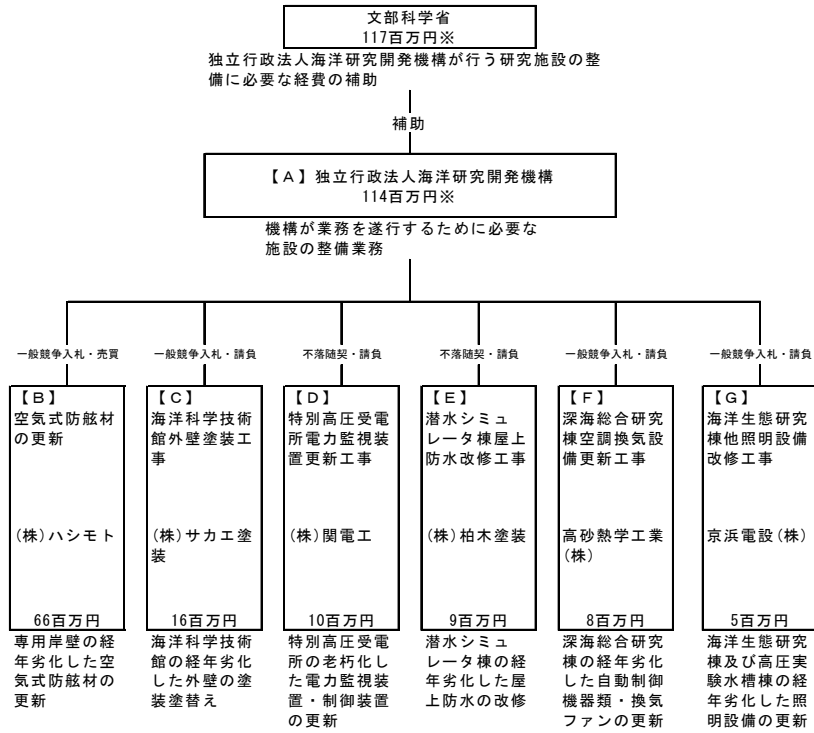


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	独立行政法人海洋研究開発機構施設整備に必要な経費		<b>担当部局庁</b>	研究開発局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成16年度～		<b>担当課室</b>	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	X-7 海洋分野の研究開発の推進					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	独立行政法人海洋研究開発機構法第17条		<b>関係する計画、通知等</b>	海洋基本計画(平成20年3月 閣議決定)等					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資するため、独立行政法人海洋研究開発機構の設置する施設の整備充実を図ることを目的とする。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	機構の業務を遂行するために必要な施設の整備業務として、海洋に関する研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うため、施設の整備や老朽化対策を実施する。(補助率:定額)								
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	230	106	117	113	310		
		補正予算	21	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計	252	106	117	113	310			
	執行額	252	106	117					
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)		
	(独)海洋研究開発機構の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する		成果実績	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	機構の実施する海洋に関する基盤的研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす		
			達成度						
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	施設設備の整備 実施件数		件	12	6 ( - )	6 ( - )	- ( )		
<b>単位当たりコスト</b>	19.5 (百万円/件)		算出根拠	平成23年度執行額(117百万円)/施設整備の整備実施件数(6件)					
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	独立行政法人海洋研究開発機構施設等整備費補助金	113百万円	310百万円	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(グリーン分野):200百万円 海洋資源調査研究に必要な新規無人探査機の整備場拡張ための増。					
	計	113百万円	310百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	海洋基本法において、国は海洋に関する施策を総合的に実施することとされており、海洋に関する科学的知見の充実に ついても、その目的のひとつとされている。本事業は海洋に関する基礎的な研究開発を進めるにあたって必要なものであり、広く国民のニーズがありかつ国が実施すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年4月に「随意契約等見直し計画」を策定し、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努めている。</li> <li>・施設の整備は、老朽化の度合いに応じて必要性の高いものから計画的に行っており、費目・用途は必要なものに限定されている。</li> </ul>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画及び年度計画において目標を設定し、達成度については独立行政法人評価委員会による評価を毎年 度受けており、着実に成果をあげている。</li> </ul>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「随意契約等見直し計画」に基づいて機構職員向けに一般競争入札の採用に関する説明会を開催し周知徹底を図ることで、機構の契約案件全体に占める競争性のある契約の割合を大幅に増加させ、随意契約については担当課内の検討チーム、契約審査委員会および契約監視委員会によって点検を実施する等の取り組みにより、一層の契約の競争性、公平性、透明性の確保、効率化を図った。さらに、調達コスト削減のために外部有識者からなる「調達コスト検討会」を設置し、コスト削減に向けた提案を受けた。その中から、平成23年度においては研究開発8法人による研究納入実績データベースの運用開始、調達情報メールマガジンの配信開始による応札者の拡大、地方拠点における入札会の同時実施による入札参加の機会向上等に取り組んだ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点：この事業は、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等に取り組む海洋研究開発機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。</li> <li>2. 所見：中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って着実に措置すべきである。ただし、平成23年度レビューでの指摘等を踏まえ、引き続き、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、整備規模の適正化やコスト削減を図るべきである。</li> </ol>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>関係する計画、通知等；  海洋基本計画(平成20年3月 閣議決定) <a href="http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/kihonkeikaku/080318kihonkeikaku.pdf">http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/kihonkeikaku/080318kihonkeikaku.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0321	平成23年行政事業レビュー	0302

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※国の支出は概算払であり、法人において契約差額が生じたため、文部科学省における執行額と法人における執行額は一致しない。

A.(独)海洋研究開発機構			E. 柏木塗装		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	老朽化対策工事等	114	工事	潜水シミュレータ棟屋上防水改修工事	9
計		114	計		9
B.(株)ハシモト			F.高砂熱学工業(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	空気式防舷材の更新	66	工事	深海総合研究棟空調換気設備更新工事	8
計		66	計		8
C.(株)サカエ塗装			G.京浜電設(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	海洋科学技術館外壁塗装工事	16	工事	海洋生態研究棟他照明設備改修工事	5
計		16	計		5
D.(株)関電工			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	特別高圧受電所電力監視装置更新工事	10			
計		10	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ハシモト	専用岸壁の経年劣化した空気式防舷材の更新	66	1	※
2	(株)サカエ塗装	海洋科学技術館の経年劣化した外壁の塗装塗替え	16	14	※
3	(株)関電工	特別高圧受電所の老朽化した電力監視装置・制御装置の更新	10	不落随契	—
4	(株)柏木塗装	潜水シミュレータ棟の経年劣化した屋上防水の改修	9	不落随契	—
5	高砂熱学工業(株)	深海総合研究棟の経年劣化した自動制御機器類・換気ファンの更新	8	2	※
6	京浜電設(株)	海洋生態研究棟及び高圧実験水槽棟の経年劣化した照明設備の更新	5	6	※
7					
8					
9					
10					

※同種の他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため非公表としている。